



飛 翔

6号

「自分で考えて、自分で決めて行動する」2学期を！

44日間の夏季休業が終了し、2学期がスタートしました。この夏は、災害級といえる酷暑で熱中症等も心配されましたが、命に関わる大きな事故等がなく2学期を迎えることができとても安心しております。登校指導しているときには、どの生徒からも大きなあいさつをしてくれて、2学期に向けてのやる気を感じられました。

夏季休業中に「自分で考えて、自分で決めて行動する」ため、勉強や運動、趣味などや、ボランティア活動、家庭の仕事など、積極的にがんばろうと投げかけたところ、豊受公民館主催の講座にたくさんの生徒がボランティアとして参加してくれました。小学生が主に活動する講座に読み聞かせなどのサポートを熱心に行い、大いに貢献してくれました。それ以外にもそれぞれの生徒が自分としっかり向き合っ活動し、充実した夏休みを送ったのではないのでしょうか。ぜひ、2学期では学習にしても、運動にしても、新たな目標に向かって挑戦する姿を期待します。

2学期のスタートに当たって、「自信と誇りをもった2学期にしよう」という内容について、生徒に投げかけました。「やればできる」という言葉がありますが、やれば必ず成功するとは限りません。うまくいくこともあれば、失敗することもあります。もしかするとうまくいかないことの方が多いかもしれません。ぜひ、生徒には、何事にも自分ではできないと決めてかからず、挑戦することが楽しい、「やればできる」という精神で頑張ればより前向きに取り組もうとするエネルギーがわいてくるということを実感してもらいたいと考えています。「やればできる」に、「やらないやできない」という意味も加えて、2学期の活動に生かしてもらえればうれしいです。

さらに自信と誇りをもった2学期にするためのヒントとして、「自己有用感」の大切さを伝えました。「自分でもできる」「自分は必要とされている」といった自分を信じ、仲間を信じ、自分を励ます気持ちを大切に行動できる第四中学校にしていきたいと考えています。

公民館主催のボランティア活動の様子



お弁当の日について

生徒が自分自身でお弁当を作り、作ったお弁当を自分で味わい、弁当作成の過程で、自分で考えながら、「やればできる」ことを実感し、自己肯定感や自己有用感を高めながら、食育について学ぶことを目的として、2学期にお弁当の日を実施します。9月17日（火）に全国でお弁当の日を推進している第一人者である竹下和男先生に本校にお越しいただき、「自分で考え、自分で決めて、自分で作る弁当の日の大切さ」をテーマにご講演をしていただく予定となっています。弁当の日の主旨について、今後もお伝えして参りますが、ご家庭でのご支援ご協力をお願いいたします。